

議会だより

6月定例会

No.56

しあ



| | |
|------------------------|----|
| 新正副議長を選出 | 2 |
| 新体制決まる！ | 4 |
| 子供医療費助成制度 を問う（一般質問） | 8 |
| 一問一答方式 導入 | 13 |
| グループ紹介 志賀町消防団 土田分団 | 14 |

未来の オリンピック

志賀町ジュニアレスリング
教室のみんな
(志賀町総合武道館にて)

表紙の写真を
募集しています

詳しくは、志賀町議会ホームページをご覧ください。

ホームページの検索は お問い合わせは ☎ 32-9270

令和は私たちが

副議長（第11代）

南 正 紀 57歳

3期 北吉田

【ごあいさつ】

寺井議長の片腕として議会運営は
もちろんのこと、本町の発展と住民
福祉の向上を目指し職責を全うする
所存であります。

【略歴】

議会改革調査特別委員会
副委員長

予算決算特別委員会
委員長

総務産業建設常任委員会
副委員長

(※議会経歴 一部抜粋)

議長（第10代）

寺 井 強 63歳

3期 富来領家町

【ごあいさつ】

議会が町民の皆様の付託に応える
ことができるよう、中立公正を旨と
し、円滑な議会運営に最善を尽くし
て参る所存であります。

【略歴】

予算決算常任委員会
副委員長

議会広報特別委員会
委員長

議会副議長

決算特別委員会
委員長

(※議会経歴 一部抜粋)

令和元年志賀町議員の紹介

4月21日に行われた志賀町議会議員選挙によって、新人1人を含め14人が決まりました。

5月10日、初議会となる令和元年第1回臨時会を開催し、議長に寺井強議員、副議長に南正紀議員が選出され、新たな志賀町議会がスタートいたしました。



表 谷 茂 浩 58歳
1期 小浦



中 谷 松 助 67歳
2期 荒屋



福 田 晃 悦 41歳
3期 印内



稲 岡 健 太 郎 41歳
3期 徳田



堂 下 健 一 64歳
4期 (通算5期) 切留



南 政 夫 55歳
5期 矢駄



越 後 敏 明 70歳
5期 大島



田 中 正 文 71歳
5期 米浜



富 澤 軒 康 63歳
5期 (通算6期) 富来地頭町



櫻 井 俊 一 63歳
5期 (通算7期) 高浜



林 一 夫 69歳
5期 (通算7期) 館開



久 木 拓 栄 68歳
5期 (通算8期) 西海久喜

新たな体制決まる

第1回臨時会

委員会などの新体制紹介

常任委員会

総務産業建設 常任委員会 (委員7名)

| | | |
|------|-------|-------|
| 委員長 | 福田 晃悦 | |
| 副委員長 | 表谷 茂浩 | |
| 委員 | 中谷 松助 | 南 正紀 |
| | 寺井 強 | 越後 敏明 |
| | 田中 正文 | |

役場内部事務や地場産業にかかる分野を所管する

教育民生 常任委員会 (委員7名)

| | | |
|------|-------|-------|
| 委員長 | 林 一夫 | |
| 副委員長 | 南 政夫 | |
| 委員 | 稲岡健太郎 | 堂下 健一 |
| | 富澤 軒康 | 櫻井 俊一 |
| | 久木 拓栄 | |

教育や住民の暮らしにかかる分野を所管する

予算決算 常任委員会 (委員13名)

| | | |
|------|-------|-------|
| 委員長 | 田中 正文 | |
| 副委員長 | 堂下 健一 | |
| 委員 | 表谷 茂浩 | 中谷 松助 |
| | 福田 晃悦 | 稲岡健太郎 |
| | 南 正紀 | 南 政夫 |
| | 越後 敏明 | 富澤 軒康 |
| | 櫻井 俊一 | 林 一夫 |
| | 久木 拓栄 | |

当初予算、補正予算、決算にかかる分野を所管する

議会運営 委員会 (委員5名)

| | | |
|------|-------|-------|
| 委員長 | 富澤 軒康 | |
| 副委員長 | 越後 敏明 | |
| 委員 | 田中 正文 | 櫻井 俊一 |
| | 林 一夫 | |

議長の諮問事項や議会運営にかかる分野を所管する

特別委員会

議会改革活性化 特別委員会 (委員6名)

| | | |
|------|-------|------|
| 委員長 | 稲岡健太郎 | |
| 副委員長 | 堂下 健一 | |
| 委員 | 南 正紀 | 南 政夫 |
| | 富澤 軒康 | 林 一夫 |

議会改革にかかる調査を所管する

議会広報 特別委員会 (委員6名)

| | | |
|------|-------|-------|
| 委員長 | 南 正紀 | |
| 副委員長 | 表谷 茂浩 | |
| 委員 | 福田 晃悦 | 稲岡健太郎 |
| | 富澤 軒康 | 櫻井 俊一 |

議会だよりなどの広報活動を所管する

原子力発電所対策 特別委員会 (委員13名)

| | |
|------|----------|
| 委員長 | 櫻井 俊一 |
| 副委員長 | 南 政夫 |
| 委員 | 議長を除く全議員 |

志賀原子力発電所にかかる対策を所管する

羽咋都市広域圏

事務組合議会議員 (議員5名)

| | |
|-------|-------|
| 越後 敏明 | 田中 正文 |
| 富澤 軒康 | 櫻井 俊一 |
| 林 一夫 | |

石川県後期高齢者 医療広域連合議会議員

寺井 強 議長

議会選出 監査委員

越後 敏明 議員

第1回臨時会

専決処分16件承認・議案1件可決

平成30年度各会計別補正後の総額

| | |
|-----------|------------|
| 一般会計 | 137億7832万円 |
| 国民健康保険 | 24億7868万円 |
| 後期高齢者医療 | 3億3819万円 |
| 農業集落排水事業 | 5億220万円 |
| 公共下水道事業 | 8億1287万円 |
| 地域し尿処理施設 | 5814万円 |
| 介護保険 | 28億7679万円 |
| 診療所事業 | 1億6822万円 |
| ケーブルテレビ事業 | 4億6526万円 |

平成31年度一般会計補正後の総額

| | |
|------|------------|
| 一般会計 | 126億4711万円 |
|------|------------|

※万円未満は四捨五入

第1回臨時会では、町長専決処分（議会の議決を経ずに町長が決定できる権限）にかかる報告案件16件、議案1件、同意1件が提出され、それぞれ承認・可決しました。

条例の改正

志賀町税条例では、住宅ローン控除に係る控除期間の拡充のほか、軽自動車のエコカー減税等の見直し、国民健康保険税率例では、5割軽減及び2割軽減に係る判定所得基準額の引上げなどの改正が行われた。

財産の取得

両中学校に導入のICT機器を（株）石川コンピュータ・センターから20046万円で取得するもの。

第2回定例会（6月定例会）

議案10件を可決、請願1件を採択

6月4日から18日までの15日間、6月定例会が開催され、町長提出議案10件、請願3件、議会議案2件が提出され、請願2件を除く案件は、それぞれ可決・採択されました。

予算の補正

令和元年度の一般会計補正予算は、国の追加事業採択等により1億5062万円増額し、総額を歳入歳出それぞれ127億9773万円とするもので、介護保険特別会計は本年10月からの消費税増税に伴う介護保険システム改修委託料の追加により173万円を増額し、総額を30億1938万円とするもので、下水道事業会計は、資本的収入で国庫補助金の内示等

条例の改正

志賀町森林環境譲与税金条例については、基金設置、志賀町コミュニティバスの運行に関する条例では、運行路線等の変更、志賀町病院事業の設置等に関する条例では、居宅介護支援事業所の設置に関する改正が行われた。

財産の取得

町長車を、(有)徳山モータースから760万円、情報系端末機器・ノートPCを（株）石川コンピュータ・センターから1442万円で取得するもの。

工事の契約

非構造部材（天井・内壁・建具・照明器具など）の落下を防止する「志賀中学校体育館非構造部材耐震化対策工事」を南建設（株）と1億526万円で、老朽化により改修を行う「志賀町陸上競技場トラック等改修工事」を大阪市の美津濃（株）と池田建設工業（株）の共同企業体と2億6400万円でそれぞれ工事請負契約を締結。



改修により記録更新が期待される

請願

「教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の提出を求める請願」を、全員賛成で採択。

「主要農作物種子法廃止に伴い日本の種子の保全の施策を求め石川県条例の制定を求める請願」及び「主要農作物種子法の復活等を求める意見書採択に関する請願」は、反対多数で不採択。

議会議案

請願の採択に伴う「教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書」、議員提出による「家庭教育支援法の早期制定を求める意見書」を、全員賛成で採択。

視察

全員協議会 で視察

6月26日

老朽化に伴う改修工事が、昨年の9月5日から本年6月21日の工期で行われ、工事完了に伴い全員協議会で視察いたしました。

総事業費は、4億6710万円で、主に受変電設備、空調設備、電灯設備等にかかる改修となります。照明器具のLED化、空調設備の更新により、快適な環境となりました。

文化ホール・保健福祉センター リニューアルオープン



各設備の改修により維持管理の効率化が図られる

人事

人権擁護委員 の諮問

人権擁護委員候補者の推薦にあたり、5名を適任として答申しました。

- | | | |
|---------|-----|------|
| 直宮 和江 氏 | 福浦港 | 【再任】 |
| 徳山 武志 氏 | 上 棚 | 【再任】 |
| 藤懸 了世 氏 | 鹿 頭 | 【再任】 |
| 福本 英夫 氏 | 火打谷 | 【新任】 |
| 岡崎 昌子 氏 | 赤 住 | 【新任】 |

※5名の方の任期

令和元年10月1日～令和4年9月30日

〔人権擁護委員とは〕

人権擁護委員は、法務大臣から委嘱を受けて、地域の皆さんから人権相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、法務局の職員と協力して人権侵害から被害者を救済したり、地域の皆さんに人権について関心を持ってもらえるような啓発活動を行っている民間ボランティアです。

志賀町では9人の委員が活動しております。



たくさんの児童を送り出した堀松保育園
(今年度、取壊し予定)

| 予算決算 | | 常任委員会 | |
|------|--------|-------|-------|
| 委員長 | 田中 正文 | 委員 | 南 政夫 |
| 副委員長 | 堂下 健一 | 委員 | 越後 敏康 |
| 委員 | 表谷 茂浩 | 委員 | 富澤 軒康 |
| 委員 | 中谷 松助 | 委員 | 櫻井 俊一 |
| 委員 | 福田 晃悦 | 委員 | 林 一夫 |
| 委員 | 稲岡 健太郎 | 委員 | 久木 拓 |
| 委員 | 南 正紀 | | |

**堀松保育園の
アスベスト対応は**

質疑 堀松保育園の取壊し時のアスベスト飛散の対応は。

答弁 アスベスト調査を実施の上、結果を踏まえ対応する。

**プレミアム商品券の
対象店は**

質疑 プレミアム商品券について、大型店は利用対象か。

答弁 大型店も対象となる。

**児童虐待への
取り組みは**

質疑 児童虐待について町は何か留意しているか。

答弁 国より強化プランが示され、要保護児童支援対策協議会の設置要綱を見直した。子ども家庭支援拠点の設置も前倒しできるよう取り組んでいる。

| 教育民生 | | 常任委員会 | |
|------|------|-------|-------|
| 委員長 | 林 一夫 | 委員 | 稲岡健太郎 |
| 副委員長 | 南 政夫 | 委員 | 堂下 健一 |
| | | 委員 | 富澤 軒康 |
| | | 委員 | 櫻井 俊一 |
| | | 委員 | 久木 拓 |

**ケアマネージャー
の人数は**

質疑 ケアマネージャーは介護支援施設の各事業所に1人はいるのか。利用料は必要か。

答弁 いる。利用者が35名以上は2人配置しなければならぬ。ケアプランは、介護保険から出るため無料となる。

| 総務産業建設 | | 常任委員会 | |
|--------|-------|-------|-------|
| 委員長 | 福田 晃悦 | 委員 | 中谷 松助 |
| 副委員長 | 表谷 茂浩 | 委員 | 南 正紀 |
| | | 委員 | 寺井 強 |
| | | 委員 | 越後 敏明 |
| | | 委員 | 田中 正文 |

**ゲーム障害への
対応は**

質疑 最近ゲーム障害がWHOで認定されたが、町内の子供たちはどんな現状か。

答弁 ゲームに関わる時間の調査は行っているが、ゲーム障害に至っているような児童生徒は、現在のところ把握していない。今後、状況を確認しながら対応を検討する。

**代替コミュニティ
バスの負担割合は**

質疑 中学生の通学路線バス廃止に伴う代替コミュニティバス乗車定期券の負担割合は。

答弁 中学生は無料となる。

**森林環境譲与税の
使用条件は**

質疑 森林整備に面積制限があるのか。個人は対象となるのか。

答弁 本年度は17haを目標とし、出雲地区を予定している。森林計画に基づき森林組合など林業経営者が行う活動が対象である。

今後の子供医療費 助成制度を問う

自動償還払い実施は困難

町長



福田 晃悦 議員

福田 先般の女性団体協議会との意見交換で子どもの医療費の助成方法も「受診データを病院からもらい、町の保護者に振り込む仕組みを検討したい」と町長は述べた。その後の検討状況と、「自動償還払い」を採用した場合の費用面を問う。

町長 保護者の申請の手間が改善されることから前向きに検討してきたが、医療機関で数百万円の請求システムの改修が必要と判明した。医療機関へのお願いや町で負担することは難しく、実施できないと判断した。従来償還払い方式を継続していくが、既に取り組んでいる郵送による申請など、申請にかかる利便性の周知に努める。

新生児聴覚検査の 助成を進めるべき

助成制度の 創設を図る 町長

福田 赤ちゃんの聴覚検査費用の助成を行う自治体が、2015年度までは1割に満たなかったが、今年度中に4割以上に増加する見通しである。日本産婦人科医学会の副幹事長も「助成制度があれば、検査実施率が高くなる傾向で、どこで生まれても同じように助成を受けられる体制づくりが必要だ」と述べており、助成制度の導入を進めるべきでは。

町長 早期発見のため、新生児聴覚検査の実施は重要と認識している。助成制度の有無にかかわらず、100%の受診率だが、今後の確実な受診と保護者の負担軽減を図るため、新たに「新生児聴覚検査」の助成制度を創設し、さらなる子育て環境の充実を図る。



申請に必要な領収書

その他の質問・・・

福田 園児が巻き込まれる交通事故が多発している。子どもがのびのびと遊べる環境に対する安全確保を聞く。

住民課長 全ての散歩コースを歩いて点検し、見直しを行っている。

福田 お墓を引き継ぐ人が途絶えることで「無縁墓」が社会的な問題になっている。本町も、急速な空家の増加で、同様な問題が出ると思うが今後の対策を問う。

環境安全課長 それぞれ事情が異なり、デリケートな問題である。町営墓地や合葬施設等の設置は、現在のところ考えていない。

補聴器購入助成制度の創設を

創設の考えはない

町長



中谷 松助 議員

中谷 70歳以上の半数に難聴があるとされ、改善には早い補聴器の使用が大切との事だが、補聴器は15万円〜30万円と高額である。

町議会でも、国へ「加齢性難聴者に対する補聴器購入を支援する制度の創設を求める意見書」を提出したが、国の施策を待つことはなく、町独自

の加齢性難聴者の補聴器購入助成制度の創設を求む。

町長 認知症を予防する観点から、コミュニケーションを図ることは、重要と認識しているが、加齢に伴う身体の衰えは聴力だけではない。

全てに対する支援は難しく、難聴者のみを対象とした町独自の制度の創設は、公平性に欠け、考えていない。

年2回の除草作業を求めべき

県へ強く要望する まち整備課長



安全対策のため行われる除草作業

中谷 国・県道沿いの除草で、交通安全や、逆走防止、水田のカメムシ発生防止対策にもなる。

町内の国道、県道沿いのと里山海道乗り降り側線沿いの除草を徹底して、年2回実施することを国や県に求めるべきでは。

まち整備課長 道路管理者の県は、例年、枝木や草木の繁茂期に適切に除草作業を行っており、道路標識、案内看板等が見えにくく、通行に支障がある箇所は、早急に対応するとの回答である。

町では、今後も適切な管理を県に強く要望する。

その他の質問・・・

中谷 子ども医療費窓口無料化を求める。

住民課長 国が全国一律の制度を創設すべきものと考えており、国の動向を注視していく。

中谷 国民健康保険税の均等割は、子どもの人数の多い家庭ほど負担が重くなる。子どもへの均等割減免を求める。財源はふるさと納税で賄えないか。

住民課長 国の制度で、所得に応じて均等割と平等割の7割、5割、2割の軽減が適用され、負担が少なくなっており、軽減の対象を拡大したところである。

国の指導により、ふるさと納税の寄附金の活用はできない。

児童生徒の 体力低下対策は

体力・運動能力の 向上に努める 教育長



南 正紀 議員

南 全国的に少子化が進行し、学校運営の効率化により、小中学校の統廃合が増えつつある。その際に懸念されのが児童生徒の体力低下である。統合4年目の志賀小学校では、これらをどのように検証し対策しているか。

教育長 県が取組む体力・運動能力の調査「体力アップ1校1プラン」の結果を基に現状・課題を把握し、体育の授業等で、児童生徒の体力向上に取り組んでいる。
志賀小学校では、「スポチャレいしかわ」、「ミニオリ・パラ チャンピオン大会」を行い、児童生徒の体力・運動能力の向上に努めていく。

西山台調整池 の安全対策を

入り口に フェンスを設置 町長

南 西山台2丁目の末吉側の2号調整池へつながる排水路は、蓋版の設置や転落防止柵の設置がなく、以前より住民から子供の転落等を危惧する声が聞かれる。また、調整池の入り口に進入禁止の看板はあるが、規制はロープ一本が張られただけで容易に侵入できる。
事故が発生する前に安全対策を施すべき。

町長 現在の車道は6メートル、歩道は2メートルの幅員で、安全性は確保されている。
水路は、山からの表流水を直接流入させるため開渠とし、除雪時の雪捨て場を確保するため、フェンスは設置していない。なお、転落の防止は、地域ぐるみでの注意喚起をお願いする。
また、調整池の入り口は、改めて施設の点検を行い、新たにフェンスを設置し、安全対策を徹底する。

町長 現在の車道は6メートル、歩道は2メートルの幅員で、安全性は確保されている。
水路は、山からの表流水を直接流入させるため開渠とし、除雪時の雪



安全対策が求められる2号貯水池の入り口

その他の質問・・・

南 町独自の学力調査結果を、どのように教育現場に反映させているか。また、児童生徒、保護者からの評価はどうか。

教育長 一人ひとりに応じた指導に役立てたり、授業力の向上につなげている。

南 地場産食材の利用促進と郷土の食文化の継承の取り組み状況と評価はどうか。

教育長 各学校で「食に関する全体計画」が作成され、児童生徒は年間指導計画に基づき郷土の食文化等を学んでいる。また、共同調理場と連携し、給食試食会の実施や献立コンクールを行い、地場産食材の良さや食育の重要性の理解は深まっている。

居住不可能な空家の対応は

所有者に指導

まち整備課長

堂下 空家対策特別措置

法が制定され4年が経過するが

- ①現時点の10年、20年後の空家増加の予測は。
- ②空家等対策計画策定から2年間の啓蒙活動の実態は。
- ③居住不可能な空家の早急な対策が求められているが、その認識は。
- ④空家対策特別措置法の施行後、空家が何戸利用されたか、対象となった家は。

まち整備課長

①空き家

等対策計画では空き家数の推計は行っていない。

国の調査では5年前より3.7%増加となり、今後増加と考える。

②町の広報等で、所有者の管理義務、利活用等の助言、移住者による空家リフォームの支援などを周知している。

③8件を特定空家と判定し、所有者に指導を行い、昨年度には2件、今年度は2件の空家の解体をして頂いた。

④平成24年度に、空き家バンクを開始し、これまでに41件の登録があり、売買11件、賃貸11件が契約につながり、16件が登録を継続している。契約に至る物件は経年が少なく、古民家風、前面道路が広いといった条件が多い。



堂下 健一 議員

外国人の増加対応は

多言語に対応を検討

町長



避難所を表すピクトグラム

堂下

町内には現在、様々な出身国の外国人がおり、166人も生活している。今後ますます増える。今後ますます増える。今後ますます増える。

- ①英語版以外のゴミカレンダー等の対応は。
- ②役場や病院への自動翻訳機の配備の考えは。
- ③公的機関の案内表示等に英語、中国語、ベトナム語の表記対応は。
- ④避難所の表記や避難者への対応は。

町長

直近3カ年の外国人登録者数は、4月1日時点で、平成29年が125人、平成30年が154人、そして、今年度は162人と、年々増加している。

- ①ごみ出しは、受入企業の協力を得ている。ごみ出しパンフレットは、英語版を作成しており、受入状況等を見ながら、その他の言語も検討する。
- ②公共機関での外国人対応は、企業の方を介したり、英語の場合は、職員で対応している。
- ③多言語による公的機関の案内表示は、全ての言語の表記は難しいが、英語表記やピクトグラムでの表示を検討する。
- ④新設した原子力防護施設の入口看板に、英語や避難所を意味するピクトグラム表記の対応をしている。避難所には、タブレット等を用いた翻訳アプリ等の活用を検討する。

森林政策の体制整備は

経営体制の整備を検討 町長



稲岡 健太郎 議員

稲岡 「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」及び「森林経営管理法」が4月1日より施行され、市町村が適切な森林管理を担うことになったが、本町の森林政策を問う。

①現在の体制
森林面積とそこに占める私有林人工林の面積及び林業従事者数と町の林務担当職員数、市町村森林整備計画の策定の有無は。

②今後の体制整備
経営管理の受託など業務量の増加が予測され、担当職員の増員や育成等はどうか。

③国、県との連携
先行しているいしかわ森林環境税事業との連携や技術的支援の要請など、国や県の協力を受けながらも、あくまで町が主体的に森林経営体制を構築するべきでは。

町長 ①町内の森林面積は、約1万6千ヘクタール、そのうち、私有林人工林面積は、6千235ヘクタールで、林業就業者数は、15名である。

森林整備計画は、10年間の計画を策定している。

②今年4月から、農林水産課の職員を1名増員。林務担当職員は他の業務と兼務で2名を配置し、研修等による職員のスキルアップを図る。

③いしかわ森林環境税の活用も検討を進め、森林の整備・管理体制の確立を図る。

ますほの丘住宅に PFI は検討したか

PFI を選択せず

企画財政課長

稲岡 PFI（官民連携事業）として、全国では地域優良賃貸住宅の建設が多くある。

また、今後の保育園の統廃合や公共施設整備で官民連携事業を検討すべきでは。

富来地域の地域優良賃貸住宅「ますほの丘住宅」の単身者棟、ファミリー棟の建設事業はPFI等の官民連携事業の検討を行ったか。

さらに、設立に向け準備が進められているDMOも官民連携事業の一環であり、事業内容を広く住民に周知し、地域全体を巻き込んで観光誘客を推進すべきでは。

企画財政課長 「ますほの丘住宅」建設でPFIを検討した結果、事業開始までに多くの時間を要することや、採算性の面から、引き受けてくれる民間事業者がいなくても想定され、県との協議の結果、国の社会資本整備総合交付金の採択を受け、PFIを選択しなかった。

今後の公共施設整備に向けた官民連携事業では取り組みを検討する。

商工観光課長 志賀町観光協会では、来年4月の登録申請を目標に準備を進めている。登録後は、関係団体や地域住民と調整を図りながら、趣旨とする「協働による観光地域づくり」を目指す。町としても、DMOの登録・運営を、支援していく。

「ますほの丘 住宅」



今後、公共施設整備事業などに PFI（官民連携事業）の検討が望まれる

一問一答方式導入



これまでの一括質問方式に加えて一問一答方式を導入し、その質問内容に適した方式を、質問者が選択することにしました。

また、一問一答方式の導入に合わせて、議員用の対面式演壇を設け、迫力と緊張感が生まれる一般質問となりました。

6月定例会より
一般質問に1問1答方式導入

導入効果は

これまでの一括質問方式は、質問者が取り上げた数項目の質問事項を一括して質問し、答弁を聞き、その答弁のうち何点かに理解ができないものがあつた場合、それらに再質問を行うもので、それぞれの案件に対する焦点が、不明瞭となる場合がありました。

導入した一問一答方式は、案件に対する疑問点を一つずつ取り上げ、納得いくまで質問、答弁を繰り返すため、より一層、論点、争点が明確になり、傍聴している方にもわかりやすい方法であります。

ぜひ、議会傍聴にお越しください。

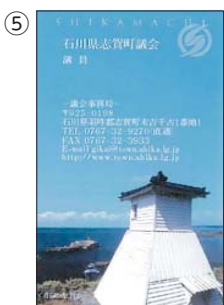


対面式で1問ごとに回答を受ける

町議会が観光名刺で町をアピール

町議会にて、名刺に志賀町内の観光名所の写真を採用し、町の観光をアピールしております。

- ① 石川県志賀町議会
-議会事務局-
〒925-0198 石川県羽咋郡志賀町末吉千石1番地1
TEL 0767-32-9270(直通) FAX 0767-32-3933
E-mail gkai@town.shika.lg.jp
http://www.town.shika.lg.jp
- ② 志賀町
石川県志賀町議会
-議会事務局-
〒925-0198 石川県羽咋郡志賀町末吉千石1番地1
TEL 0767-32-9270(直通) FAX 0767-32-3933
E-mail gkai@town.shika.lg.jp
http://www.town.shika.lg.jp
- ③ 大島遊覧
石川県志賀町議会
-議会事務局-
〒925-0198 石川県羽咋郡志賀町末吉千石1番地1
TEL 0767-32-9270(直通) FAX 0767-32-3933
E-mail gkai@town.shika.lg.jp
http://www.town.shika.lg.jp
- ④ 志賀の海
石川県志賀町議会
-議会事務局-
〒925-0198 石川県羽咋郡志賀町末吉千石1番地1
TEL 0767-32-9270(直通) FAX 0767-32-3933
E-mail gkai@town.shika.lg.jp
http://www.town.shika.lg.jp



全6種類

- ①旧福浦灯台、機具岩、巖門
長いベンチ、八朔祭礼
- ②機具岩、ころ柿
- ③大島所願堂
- ④志賀の郷リゾート
- ⑤旧福浦灯台
- ⑥機具岩

グループ紹介 34

志賀町消防団 土田分団

地域にむけた防火啓発に頑張っている団員の皆さんを訪ね、お話を聞きました。

地域のために 熱い男たち



野沢 貞則 分団長

◆メンバー構成は

◆現在、土田地区の19名が所属し、20代から50代という幅広い年代の団員が楽しく、時には厳しく、地域の安心安全のため、消防団活動に取り組んでいます。

◆普段の活動は

◆毎月の巡回や春・秋の防火パレード等に参加し、地域にむけた防火啓発を行っています。
火災が発生した際には、現場へ駆けつけ、消防署と連携し、消火活動にあたります。ここ数年は火災も少なく、

現場活動を行う機会はほとんどありませんが、有事に備えて日頃の訓練を大切にしています。昨年の豪雨時には水防活動として、土のう積みなどを行いました。

◆これまでの活動など

◆毎年行われている羽咋郡市消防団連合会訓練大会に向けては、普段以上に厳しい訓練に励んでいます。

その結果、石川県代表として出場した平成28年度全国消防操法大会では準優勝という成績を収めることができました。

◆今後の目標は

◆7月末に行われた石川県消防操法訓練大会に羽咋郡市代表として出場しました。
6年連続の出場となる今回は、3年ぶりの県大会優勝を目指し分団一丸で日々訓練に

◆最後に一言

励んできました。
私達の活動・活躍が地域を盛り上げる源になればと思います。
◆今後も地域のため、防火啓発、水防活動等に全力で取り組んでいきます。
皆さまのご支援・ご協力を何卒お願いいたします。



一緒に地域を守りたい方、待ってます

お知らせ

9月定例会の予定日です。本会議を傍聴してみませんか。

| | | |
|-------------|--------------|------------------------------|
| 9/3 (火) | 本会議 10:00 | 議案の上程 (町長が行政報告や議案説明をします。) |
| 9/10 (火) | 本会議 10:00 | 一般質問 (議員が町政について質問をします。) |
| 9/20 (金) | 本会議 14:00 | 議案の採決 (議案の可否について決定をします。) |

| | |
|-----------|---|
| 発行責任者 | 議長 寺井 強 |
| 議会広報特別委員会 | 委員長 南 正紀 副委員長 表谷 茂浩 委員 福田 晃悦 稲岡健太郎 富澤 軒康 櫻井 俊一 |